

三陸の海を放射能から守る

岩手の会

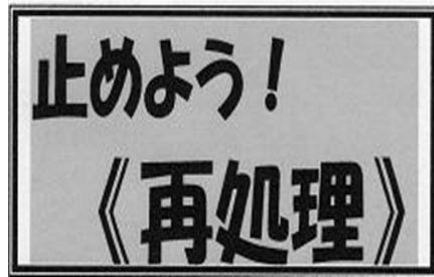
郵便振替 02240-5-102650

ホームページ《再処理 / 岩手の環境》

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《まった再処理分庫》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k_imag



《天恵の海》

2012(平成24)年

2月 7日

第108号

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

原発さよなら署名提出

総数 13万6673筆

政府交渉集会



すべての原発を廃炉とし、福島事故の責任を明らかにし、完全補償を求める「原発さよなら署名」の政府への提出集会が一月二六日、参議院議員会館講堂に約一五〇人が集まり行われました。今回の提出署名数は二万八八八八筆で七月二九日の第一次提出と合わせて一三万六六七三筆に達しました。集会では、原発の再稼働反対、廃炉要求のほか、六ヶ所再処理工場のアクティブ試験を再開しないよう要求するなど、多くの質問や抗議の声で満たされました。

アクティブ試験再開反対 原発再稼働反対

全国九五市民団体
取り組み

美浜の会や福島老朽原発を考える会など全国九五市民団体で取り組んだ今回の「原発さよなら」署名は福島原発事故直後の四月一六日から始まりました。七月二九日に第一次分として一〇万七九八五筆を原子力安全・保安院に提出し、福島の子ども達はじめ住民の被ばくを最小限に抑える要求や玄海原発の再稼働反対など各地の運動と結びついて展開されました。六ヶ所工場アクティブ試験再開は許さない

集会ではまず、年明けから試験再開にむけて動きだした六ヶ所再処理工場について質問が集中しました。

現在、全国の原発と同じように再処理工場にも「ストレステスト」が課せられ、結果が出るのは四月末以降といえます。どうして、その前のアクティブ試験再開なのか。再処理試験再開は原燃だけの判断で出来るのか。保安院は、原燃に許可を出したのか。濃縮缶の温度計保護管穴あき問題で三・一一以降も見直しがなされたのか。残念ながら私達の質問に対し、原子力安全・保安院からの実のある回答はありませんでした。電気は足りている原発再稼働をやめよ。つぎに、次々に停止している全国の原発について、このまま、廃炉とし、日本列島の安全を図るべきだという意見が多く出されました。二七

日の島根二号機の停止で稼働中の原発は三基のみとなる。まず、危機回避。「原発がなくとも電気は足りる」ということが既に証明されているという指摘がなされ、福島事故の実態は未解明、さらに地震による配管破断やメルトダウンした圧力容器内部の様子は不明だ、原発そのものの老朽化、活断層の評価など、現在なされている「ストレステスト」では解明出来ない、という訴えが続きました。事故調査委員会の結論前に判断するのは政府と国会の福島原発事故調査・検証委員会に現在調査や聞き取り、審議を行っています。その結論もなしに原発を再稼働するということとはあり得ないはず。一八日の「ストレステスト意見聴取会」は傍聴を認め、国民に公開で行われるべきものです。福島原発事故以降、原発について、世界中の目が日本に集中しています。崩壊した原発安全神話に囚われない日本政府の正しい判断が注目されます。

六ヶ所・東海再処理工場の安全策を！

国会議員へ要請行動

茨城県東海再処理工場



高レベル放射性廃液を
393m³も貯めている。セシウム₁₃₇と比較すると福島事故大気放出量の約9.4倍の放射能。

再処理って何？

原発事故のようにならないの？



東海、六ヶ所再処理工場にたまる超危険な高レベル廃液。安全対策を訴える要請書を携えて、国会議員各位をまわる活動が始まりました。1月26日、27日には提出団体の、上京した4人と首都圏の市民が、参議院議員16人、衆議院議員21人の事務所を訪問し、要請書を手渡しました。「原発」の運転の結果生まれた「使用済み核燃料」と、その再処理の結果発生した超危険な[高レベル放射性廃液]について、国民の厳しい目が注がれ始めました。

青森県六ヶ所再処理工場



高レベル放射性廃液を
240m³も貯めている。セシウム₁₃₇と比較すると福島事故大気放出量の約5.8倍の放射能。

六ヶ所・東海再処理工場に関する要請書

一、原発の使用済み核燃料は再処理せずにそのまま永久貯蔵して下さい。放出廃液の法規制がなく、放射能を垂れ流しにする前提で試験操作されています。本格操業になると三陸の海の汚染は必至です。

一九八三年英国再処理工場では誤操作で高レベル廃液を海洋へ放出し、海岸が閉鎖される事故があり以降海藻は食べられなくなりました。

建設費が当初の七千億円から二兆二千億円にふくれ上がり、今後四〇

提出23団体

三陸の海を放射能から守る岩手の会(岩手県盛岡市) NPO地球とともに(茨木市) 三陸の海を守る会(宮古市) 三陸の海を守る会(羽城市) やまゆり生活協同組合(海老名市) チームココ(大阪府) 子どもたちを放射能から守る関西ネットワーク(大阪府) SLOE Turtle(大阪府) 道民放射能測定所(旭川市) 自然耕房ホタルファーム(北海道当麻町) onesiafreeway(ヤポネシアフリーウェイ)(焼津市) 市民運動交流センターふくやま(福山市)

年の操業で一九兆円が見積もられています。未だにガラス固化技術の欠陥により操業の見通しも立っておらず、全くの無駄遣いです。

二、再処理工場にたまっている高レベル放射性廃液の安全管理を徹底させて下さい。

国内には、絶えず冷却して発生する水素を掃却しなければ爆発する、危険な高レベル廃液が日本原燃(六ヶ所再処理工場)に約二四〇立方メートル、日本原子力研究開発機構(東海再処理施設)に約三九三立方メートル貯蔵されています。高レベル廃液は冷却できなくなると自己崩壊熱により約一五時間で沸騰し環境漏洩事故をおこ

します。また発生する水素を除去できなければ爆発の危険があります。事業者や国は過酷事故を想定しない対応であり、極めて不十分なものです。仮に福島第一原発のような津波が押し寄せたならば東海再処理施設で事故が発生し、首都圏は壊滅していたことが想定されます。

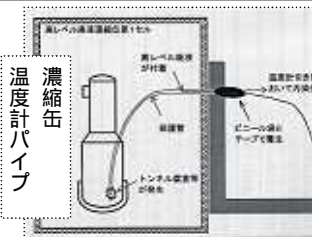
三、原子力関連審議会委員に消費者や環境市民団体代表を。

人々や生き物が天恵の自然に恵まれたこの国で未永く安心して暮らせるよう、これ以上放射能で環境を汚染することがないようご尽力をお願い申し上げます。

六ヶ所再処理工場 大丈夫か？
高レベル廃液濃縮缶パイプに腐食穴

六ヶ所再処理工場の高レベル廃液濃縮缶の温度計保護管に腐食による小さな穴が出来て液漏れが発見されたのは二〇一〇年の七月。この穴(孔)について、その部位が廃液の強い放射線のため修理が出来ず、原燃は前代未聞の策で対処しようとしていました。それは、該当の保護管に圧力をかけた空気を送り、濃縮缶内部の廃液や蒸気が漏れ出ないように押し返すというやりかた。この方式が三・一一以前に安全・保安院の意見聴取会で容認されていました。

強い放射線を持つ高レベル廃液が蒸発濃縮する缶の腐食穴をそのままにして、アクティブ試験再開は危険過ぎます。



原燃ホームページ「トラブル等とその対応」no.2-23